

各団団委員長・隊指導者  
各地区委員長  
各地区コミッショナー 各位

日本ボーイスカウト神奈川連盟  
理事長 中川 玄一  
県コミッショナー 清水 裕

## 平成 27 年度冬季の諸活動に向けて

各団・各隊・各地区におかれましては、冬の諸活動に向けて諸準備が進められていることと思います。スカウトたちにとって、冬のプログラムは冬の自然の中で、冬独特の活動を展開するまたとないチャンスであり、スカウトたちがとても楽しみにしているプログラムがたくさんあります。スカウトたちの期待に応えるべく指導者も張り切って準備をしているところではないでしょうか。「スキー、楽しかったね!」「雪中キャンプ、おもしろかったよ」「囲炉裏を囲んで食べたおなべ、おいしかった!」スカウトたちの興奮が伝わって来るようです。楽しい、ワクワク、ドキドキの活動によって、スカウトたちが一回りもふた回りも大きく成長するよう、是非よろしくをお願いします。

しかし事故が起きてしまっても何にもなりません。野外プログラムの実施については、危険予知を含め、十二分の安全対策を講じることが不可欠です。つきましては、日本連盟コミッショナーから出された添付の「平成 27 年度冬季の諸活動に向けて」について、ポイントとなる事項等を列挙いたしますので、全団隊指導者に周知下さるようお願いいたします。

繰り返し安全意識の喚起、安全体制の構築、安全技能の向上等を強化し、事故防止に万全の措置を講じるようお願いいたします。またスカウト、指導者一人ひとりが健康管理を含めて、可能な限り自分の安全は自分で守る心構えの醸成に、ご協力いただくようお願いいたします。

1. 活動計画書の作成を疎かにしない、基本に忠実に十分・綿密な計画の作成を
2. 全ての指導者はセーフ・フロム・ハームの実践を、全てのスカウトはセーフ・フロム・ハームを学ぼう
3. スキー・スノーボード・スケートの安全対策を十分に、特に引率指導者が重度の怪我を負うことが多いことに注意
4. 今冬はノロウィルス大流行の予測、発生予防方法をもう一度確認
5. 日本連盟 HP「登山・ハイキングの実施に関して」の再読を
6. 公共マナーの遵守：公共交通機関での移動時や公共施設利用時のクレームが毎月のように県連に届いています。常に地域の人々から見たら、という視点を持って行動してください
7. 「登山計画書」は警察署へ、「県外旅行申請書」は県連へ、「活動実施計画書・安全計画書」は団へ提出
8. 日本連盟 HP「野外活動のための安心・安全講座」を活用しよう